

戦国ぶっかッー

滋賀 びわ湖

滋賀県
観光キャンペーン

2026年

12月31日まで

2026年版

今、戦国時代が
動き出す。



いざ、戦国時代の舞台、滋

武将たちがどうしても手中に収めなかった、近江(滋賀県)。この地は古くから近畿、東海、北陸をむすぶ陸路のかなめであるとともに、広大なびわ湖は水上交通が発達していたため物や人の流れが活発でした。

さらに近江は、天皇や將軍のいる京都へ道が通じていたことから、天下統一を狙う武将たちにとってなによりも重要な拠点となったのです。

そのため多くの武将たちは、この地を駆け抜け、時には戦い、命がけで守ろうとしました。

また戦国の姫君たちが、そんな武将たちの人生に翻弄されたことは言うまでもありません。

近江にゆかりのある戦国武将や姫君たちの足跡をたどれば、かつての情景が心の中で蘇るとともに、新たな発見が目の前に現れることでしょう。

あけち みつひで 明智光秀

信長の家臣として戦功を重ねて坂本城を築くも、信長の施策に不満を持ち、謀叛を起こす。本能寺で信長を自害に追いやるが、山崎の戦いで豊臣秀吉に破れ、落ち武者狩りに遭って自刃。



ほそかわ 細川ガラシャ

明智光秀と黒子の三女で、坂本城で育つ。光秀が本能寺の変を起こすと、謀反人の娘として夫の細川忠興に幽閉される。のちに石田三成からの人質要請を拒んで死を選んだ。

あけち ひろこ 明智黒子

明智光秀の正室。貧しい時代には黒髪を売って夫を支えたと伝わる。光秀が出世して建立した坂本城に暮らし、夫の謀叛や娘・ガラシャの悲劇を見ることなく死去。



きょうごく 京極マリア

浅井久政の娘で、長政の姉、浅井三姉妹の伯母。京極高吉と結婚し、安土城下にて宣教師オルガンティーノより洗礼を受け、洗礼名ドンナ・マリアを授かる。

きょうごく たつこ 京極竜子

京極高吉と京極マリアの娘。山崎の戦いで夫・武田元明が秀吉に討たれ、捕らえられた竜子は秀吉の側室に。秀吉の「醍醐の花見」では同じ側室の茶々と盃を受ける順番で争ったと伝わる。



幻の安土城に込めた
天下統一の夢。

おだ のぶなが 織田信長

尾張の一大名からのし上がり、足利義昭を援助することで権力を掌握。壮大な安土城を建設し、新しい権威を天下に知らしめた。家臣・明智光秀のクーデター「本能寺の変」で命を落とす。

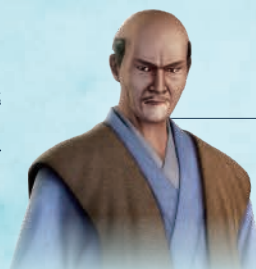
のうひめ 濃姫

美濃の斎藤道三の娘で、織田信長の正妻。本名は帰蝶、または胡蝶。謎が多く、安土城に住み、「安土殿」とも称されたか。創作の世界では本能寺でいさましく戦う姿が描かれることも。



おだ のぶただ 織田信忠

18歳で織田家の家督を譲られ、長篠の戦いや甲州征伐などで戦功を重ねる。本能寺の変のときはすぐ近くの妙覚寺におり、父・信長の悲報を聞いて自刃。



たきがわ かずます 滝川一益

信長の家臣として多くの合戦を攻略し、敵対する石山本願寺に対しては鉄甲船を仕立てて兵糧の運び入れを阻止した。茶人としても知られ、領地よりも茶器をほしがったという伝承も。



ごう 江

浅井長政とお市の方の末っ子。三人目の夫が徳川家康の子・秀忠。眞の家康が大坂城を攻めて姉の茶々を失う。2男5女を生み、長男家光は徳川三代將軍に。

賀県へ。

初

浅井長政とお市の方の次女。京極高次の正妻。豊臣家の存続をはかる姉の茶々と徳川家康が対立を深めると、仲介役として奔走。大坂冬の陣では彼女の尽力で和議となった。



お市の方

織田信長の妹。浅井長政と政略結婚して近江の小谷城に入り、茶々、初、江を生む。長政が兄・信長に討たれると、柴田勝家と再婚。賤ヶ岳の戦いで勝家が秀吉に敗れ、ともに自害した。

柴田勝家

信長の精鋭部隊として武功をあげ、北陸方面の司令官に。信長が亡くなると主導権をめぐって秀吉と対立を深め、賤ヶ岳の戦いで敗走。北ノ庄城でお市の方と自刃する。



ねね(北政所)

豊臣秀吉の正妻。出世をとげる秀吉を支え、城主となった長浜城とともに盛り立てる。秀吉の死後は出家して高台院となり、大坂夏の陣での豊臣家の滅亡を見届けた。



池田恒興

信長の小姓(お世話係)から家臣となり、武勲を重ねる。秀吉と家康が戦った小牧・長久手の戦いに秀吉方として参戦するも、家康の家臣・永井直勝の槍によって討死。



丹羽長秀

織田家重臣として安土城の築城では総監督を務め、内政面でも活躍。賤ヶ岳の戦いでは秀吉を援護して勝利する。積聚というお腹の病気のために自刃したと伝わる。



滋賀から天下へ
無双の兄弟。

茶々(淀殿)

浅井長政とお市の方の長女。父は伯父の信長に討たれ、母お市が再婚した柴田勝家も賤ヶ岳の戦いで破れ、敵方だった秀吉の側室に。秀頼を生むも大坂の陣で徳川家康に攻撃され、親子で自害。



豊臣秀長

豊臣秀吉の弟。冷静でやさしく、クセの強い秀吉の欠点を補ったという。秀吉と柴田勝家がぶつかった賤ヶ岳の戦いでも最前線に陣取り、秀吉の天下取りを助けた。

豊臣秀吉

農民だったとも言われるが、織田信長の家臣として活躍して長浜城主に成り上がる。信長亡きあとは山崎の戦い、賤ヶ岳の戦いで勝利して織田家臣団から飛び抜け、ついに天下人に。



秀長室(慈雲院殿)

豊臣秀長の正妻。出自や生没年、本名もわかっていない。秀長亡きあと、秀吉が大徳寺の僧をはりつけにしようとしたときに助命を嘆願した慈悲深い女性。

戦国観光は、グルメから。

武将気分で味わう「戦国メシ」

腹が減っては旅はできぬ。滋賀に来たら、戦国時代にちなんだ料理やスイーツで腹ごしらえを。



{ 豊臣秀長戦国御膳 }

豊臣秀長・秀吉の兄弟二人が生き抜いた戦国時代の背景や、関わった人物にちなんだ食材などを使用しています。約400年の歴史を持つ「近江牛」と、趣向を凝らした料理とともに、立身出世を目指した二人の戦国ストーリーに思いを馳せてみては。

▶ 近江牛専門店 松喜屋
④滋賀県大津市唐橋町14-17 ⑤JR琵琶湖線石山駅から徒歩8分
<https://www.matsukiya.net/>



{ 天下無双 戦国もののふサンデー }

戦国の世に花開いた「茶の湯文化」をサンデーで表現しました。地元朝宮茶の本格抹茶ソフトに大玉みたらし団子ときな粉が香ばしいわらび餅が美味です。

▶ びわこ戦国茶屋
④滋賀県大津市朝日が丘2丁目8-1 ⑤E1 名神高速道路 大津SA(下り線)
<https://www.w-holdings.co.jp/sapa/02080/>

{ 甲賀流 薬草御膳 }

甲賀忍者は、身を隠す手段として、また情報収集のために甲賀の山々で摘んだ薬草などを用いて薬を作り、行商(配置売薬)を行っていたと伝えられております。その甲賀の山々で摘んだ薬草を皆様の長寿と健康を願う料理に盛り込んだ御膳です。

▶ 甲賀の里 錦茶屋
④滋賀県甲賀市甲賀町大原中1034 ⑤新名神高速道路甲南、甲賀土山インター(車で10分)
<https://nishikityaya.com>



{ 秀吉の茶室(抹茶・勝栗) }

豊臣秀吉の愛した「茶の湯」と「黄金の茶室」をイメージして、特濃抹茶の上に金箔を散らした華やかなおはぎと、戦国時代の茶会のお菓子として愛された〈栗〉を使ったおはぎをご用意しました。栗を保存食として加工した「勝ち栗」は「勝ち」に通じる縁起の良い食べ物とされていたことから、栗のおはぎは〈兜〉風に仕上げています。

▶ CaFé KanOn(カフェ・カンノン)
④滋賀県大津市園城寺町246 園城寺三井寺観音堂前売店 ⑤JR東海道本線(琵琶湖線)大津駅 または JR湖西線大津京駅より 京阪バス三井寺下車すぐ <https://cafe-jpn.com/>



{ 戦国版・しぼりたて厳選和栗モンブラン }

厳選した和栗にこだわるプレミアムスイーツがパイ生地を用いて戦国時代の甲冑風に。目の前で濃厚な和栗のペーストがしぼられる最高鮮度のモンブランを、戦国時代も栄えた宿場町・草津でお楽しみください。※数量限定・要予約

▶ ホテルボストンプラザ草津びわ湖 オールデイダイニングリバティ
④滋賀県草津市西大路町1-27 ⑤JR琵琶湖線 草津駅 西口から徒歩30秒 <https://www.hotel-bp.co.jp/restaurant/liberty/>

※営業時間・定休日等は各店舗のホームページをご確認ください。



{ 忍者餃子 }

手裏剣型に盛付された忍者仕様の餃子! 独特の黒い皮は地元の黒影米の米粉と滋賀県産の竹炭を使用してあります。

▶ 忍術茶屋
④新名神高速道路(上り線)甲南PA (滋賀県甲賀市甲南町杉谷2281)
⑤新名神高速道路(上り線)甲南PA
<https://www.kounan-pa.jp/>



彦根・米原・長浜市内の飲食店では、各店舗が「三成公への思い」を込め考案した飲食メニュー「三成めし」が充実しています。その一部をご紹介します！

下記の3商品の詳細、および、その他の「三成めし」は、「三成めし」特集サイトをご確認ください。
<https://www.hikoneshi.com/mitsunarimeshi>



{ 三成勝丼 }

石田三成の旗印「大一大万大吉」の文字を大胆にあしらった、見た目もお腹も大満足のソースかつ丼。

▶ 四季菜

📍滋賀県彦根市大東町2-28 アル・プラザ彦根2F



{ 近江牛のローストビーフにぎり「三つ成」 }

思わず声に出して呼びたくなる、滋賀県ブランドの近江牛を使用したローストビーフの俵型おにぎり3個セット。

▶ かなやキッチン

📍滋賀県米原市醒井621-3



{ 三献の茶ロール }

洋菓子を通じて「三献の茶」を表現。原材料には滋賀県で作られている卵と近江緑茶(煎茶)を使用しています。

▶ 手づくり工房 みゆう

📍滋賀県長浜市高月町落川18-1

食べて、勝ち取れ。『戦国メシ』周遊ラリー

【実施期間】
2026年7月25日(土) ~
12月20日(日)迄

『戦国メシ』を巡って「応募シール」を集めよう！

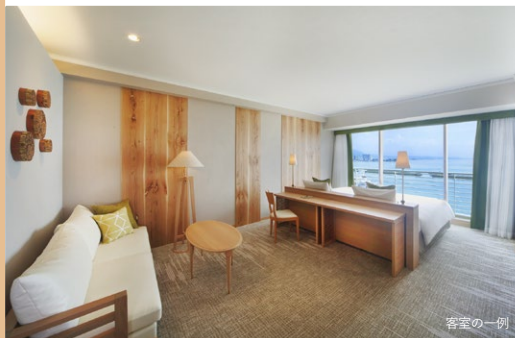


抽選で、下記の『琵琶湖ホテルの宿泊券』または『近江米』、『オリジナル食器』が当たります。

1等 シール10枚で

1組様

琵琶湖ホテル ペア宿泊券(50,000円分)



2等 シール5枚で

10名様

近江米[きらみずき](5,000円分)



3等 シール3枚で

20名様

戦国ディスカバリー
滋賀・びわ湖 ロゴ入り
オリジナル食器



イメージ

公式HP /



参加
ステップ

1 キャンペーン期間中、「戦国メシ」周遊ラリー加盟店舗を訪れて「応募ハガキ」を入手

2 「戦国メシ」メニューを注文すると1品注文でシール1枚入手

3 3等(シール3枚)、2等(シール5枚)、1等(シール10枚)で抽選に応募可能。1人1コース応募ハガキを投函(切手を貼らずにそのまま投函下さい)

特設サイトでは「戦国メシ」や周遊ラリーの詳しい情報を掲載しています。
<https://sengoku-discovery.biwako-visitors.jp/meshi/>



ぜひ、
ご覧あれ！

信長の夢、まぼろしの

安土城を追え。

— 安土城築城450年



信長はどうして安土を選んだ？

清洲城、小牧山城、岐阜城……織田信長は勢力を伸ばすたびに居城を変えてきましたが、安土城はその総決算ともいえる城であり、人生最後の城です。

安土城築城を決めた1576年、信長は畿内近国を支配下においたことで大きな権力を手にしていましたが、関東、四国や中国地方を抑えておらず、まだ天下を取るには至らず、そんな状況です。

岐阜城を居城としていれば、都はやはり遠い。天皇のお膝元で不測の事態が起きても、すぐには駆けつけられません。では都に城を築く？ いいえ、そうしなかったのが信長らしいところです。信長は、安土という地に、室町幕府とは違う、新しい都市、新しい権威を作りたいかたのではないかと考えられています。

それには安土はぴったり。岐阜にも京都にもアクセスがよく、背後にびわ湖があるため、防衛と水運という点からとても便利だったのです。



織田家の勢力図(1579年ごろ)

安土城はどんなお城？

安土城は約198メートルの安土山に築かれました。城郭すべてが無くなったいま、限られた史料や、これまでの発掘成果から想像するよりありません。

当時の安土城を伝える大事な史料として、宣教師フロイスの『日本史』があります。そこには、フロイスの故郷であるポルトガルの建造物にひけをとらない豪壮で美しい建物であり、7重もある城と宮殿であったようです。瓦や柱などにふんだんに金や漆が使われ、室内は金色にかがやく豪華な障壁画が描かれていたそうです。

まだ干拓されていない時代なので、ふもとにはびわ湖が迫り、舟がたくさん往来し、見わたすかぎりの田野が広がっていたとか。まるでユートピアです。

信長は宣教師ヴァリニャーノに安土城を描いた屏風を贈り、グレゴリウス13世に献上されましたが、現在は行方不明。もし見つかったら超一級史料ですね。



屏風絵風
安土城陶板壁画

安土城郭資料館所蔵 画：宇田妙子

たった10年で消えた理由

安土城はわずか10年で姿を消しました。天主にいたっては完成から3年で焼失しました。

焼失の理由は、本能寺の変による信長の死。明智光秀の謀叛によって信長が自害したという一報を受けると、安土城下はパニックになります。光秀は必ずここも襲う——留守居を勤めていた蒲生賢秀は信長の妻子(濃姫?)を連れて、自らの城へと逃れます。本来はこのとき城に火を放つものなのに、そうしませんでした。三日後に入城した明智光秀も火をつけることはなく、居城にしています。

その光秀が山崎の合戦で豊臣秀吉に敗北すると、ついに安土城に火をかけられました。誰が火をかけたのか——現在のところ、光秀の重臣・明智秀満が有力候補です。

実はこのとき炎上したのは天主と本丸など主郭部のみで、すぐに織田信孝や秀吉、さらには織田家の家督を継ぐとされた三法師が安土城に入城します。燃えてなお、「天下人の城」だったのです。しかし豊臣家が天下をとるとついに廃城が決定。本能寺の変から3年経った1585年のことでした。



現在の安土城石碑



大手道跡

日本初のライトアップは安土城？

宣教師ヴァリニャーノが帰国する際に、信長は粋な贈り物をします。それは「安土城ライトアップ」。城下町の家々の灯りはすべて消すように命じ、天主や城内の惣見寺をおびたしい提灯で照らし、さらに湖水に浮かぶ舟の上の人々に松明を持たせ、山上から水面までやわらかな灯りで照らしたといいます。どれほど幻想的な情景だったことでしょう。

信長は不信心？ 石段に石仏

安土城跡から見つかる石段に、愛らしい人の姿をしたものがあって、すこしばかりします。実はこれ、石仏です。これを見て「信長は不信心!」「さすが古い概念にとらわれない」なんて思う人もいると思いますが、戦国時代でこの「転用石」はよく見られることで、役割を終えた石仏や供養塔は「石材」ととらえていたようです。これには宣教師たちもびっくりしたとか。

「直線のおおてみち」の謎

お城の道といえば、登城用メインストリートでありながら、敵の侵入を難しくするためにあえて何度も曲がりくねらせるものです。ところが安土城の大手道は幅約6メートル、南北180メートルの直線! まるで都大路ですね。威容を見せつけるため、などの説がありましたが、天皇の安土行幸のために整備されたという説が有力です。この行幸計画も「本能寺の変」で実現しませんでした。

安土城年譜

- 1576年(天正4年)……正月中旬に安土城の築城を開始
- 1577年(天正5年)……安土城下に築市楽座の掟書を発布
- 1579年(天正7年)……天主完成。信長が移り住む。
- 1582年(天正10年)……城内の惣見寺に徳川家康を迎え、能を観賞。
本能寺の変。信長が自害。安土城の天主と本丸などが炎上。
- 1585年(天正13年)……豊臣秀次の八幡山城築城にともなって廃城



「幻の安土城」復元プロジェクト

八角形巨大シアターで見る! 高精細フルCG再現の安土城復元

天主5階部分と同じ八角形のシアターで、最新の研究成果をもとに高精細フルCGで幻の安土城の姿を再現し、安土城築城の意義を信長自らが語るドラマ仕立ての映像コンテンツ(約15分)を上映しています。

▶ 滋賀県立安土城考古博物館

[第1常設展示室 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678] ①滋賀県立安土城考古博物館 ☎0748-46-2424 ②一般600円(特別展・企画展は別料金)※高校生以下無料 ③9:00~17:00(最終入館は16:30まで) ④月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日)、12月28日~1月4日 ⑤JR琵琶湖線「安土駅」より徒歩25分。タクシー6分。 <https://azuchi-museum.or.jp/>



VRで見てみよう

(近江八幡市提供・天主復元案は内藤昌氏監修・TOPPAN制作)

VR(バーチャルリアリティ)で見る! 安土城復元

ショートムービー版:200インチスクリーンで安土城を描いた15分のショートムービーがご覧いただけます。

マニュアル版:コントローラーを使ってVR安土城の空間を自由に行き来することができます。信長や秀吉、また鷹の視点など、様々な視点を体感することができます。(イベント開催時)

▶ 安土城天主信長の館

[安土文芸の郷 滋賀県近江八幡市安土町桑実寺800] ①安土城天主 信長の館 ☎0748-46-6512 ②一般610円、学生350円、小中学生170円 ③9:00~17:00(最終入館は16:30まで)(VR安土城シアターの最終上映は16:20) ④月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日)、祝日の翌日(翌日が土日を除く)、12月28日~1月4日 ⑤JR琵琶湖線「安土駅」より徒歩25分。タクシー6分。 <http://bungei.or.jp/publics/index/74/e.jp/nobu/>

現地でアプリを使って見てみよう

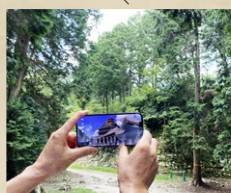
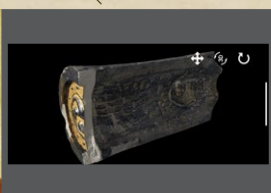
2025年にARアプリがリリースされました。その中身を少しだけご紹介します。詳しくは公式サイトをご覧ください



解説を聞くことができた
発掘成果も見られます

天主は複数の
復元案が見られます

好きな武将と
AR記念撮影も



発掘調査
進行中!





近江の秀吉・秀長兄弟

—ふたりの絆がつかんだもの

滋賀県観光キャンペーン
武将キャラクター

浅井氏を討て

豊臣秀吉がはじめて城主、つまり大名になれたきっかけは姉川・小谷城（あねがわ・おだにじょう）の戦です。主君の織田信長は北近江を治める浅井氏と同盟関係を結び、妹のお市の方を浅井長政に嫁がせていました。しかし信長が越前一乗谷の朝倉義景を攻略する際に浅井氏は朝倉氏との同盟を重んじ、兵を向けてきました。命からがら逃れた信長は激怒し、徳川家康と手を組んで滋賀県東浅井郡の姉川の河原で浅井氏を下します。3年後には浅井長政の居城である小谷城を取り囲み、長政を自害に追いやりました。どちらの戦でも秀吉が活躍し、とくに小谷城では奇襲をかけて制圧しました。このときお市や浅井三姉妹を逃したのもまた秀吉です。



姉川古戦場



小谷城の大石垣

長浜城をつくろう

姉川・小谷城（あねがわ・おだにじょう）の戦いで武勲を挙げた秀吉は、小谷城をはじめ浅井氏旧領を信長よりもらい受けます。しかし小谷城は山城で、交通、物流の面ですこし不便。そこで秀吉は琵琶湖に面した「今浜」という地を「長浜」という名に変え、ここで築城と町作りを行いました。多くの人々が長浜に集うように年貢を免除するなど、発展のために知恵を絞ったとも言われます。長浜城は水城に属し、城からそのままびわ湖に舟を出せたとか。江戸時代に廃城となりましたが、長浜別院大通寺の台所門は長浜城の大手門を移築したものと伝わります。



長浜全景



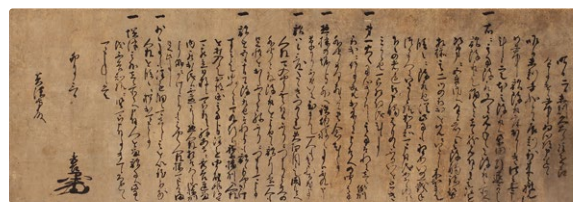
大通寺台所門

賤ヶ岳で勝利

長浜城歴史博物館には、秀吉が弟の秀長に出した手紙が残されています。天正十一年卯月三日（1583年4月3日）付で、賤ヶ岳の戦いの際に書かれたものです。秀吉がとても細かい字で書き込んでいるのは戦術。

織田信長を自害に追い込んだ明智光秀を討った秀吉は、織田家臣団の中で頭ひとつ飛び抜けますが、後継者をめぐって内輪もめが起り、柴田勝家と賤ヶ岳でぶつかります。このとき活躍したのが弟の秀長。重要な地に陣取り、指揮中枢を担いました。

秀吉の手紙には「惣構の堀から外に鉄砲を放て」とか「草刈の人すら陣中から出すな」など、細かく遠慮のない指示が書かれていて、兄弟の絆を感じます。秀長の大活躍もあって羽柴方が勝利し、秀吉はここから天下人へと大きくコマを進めるのです。



秀吉が秀長に宛てた書状

所蔵：長浜城歴史博物館

戦国を這い上がっていく、ふたりの足あと。
それは滋賀県にいくつも残されています。
近江の攻略は、天下取りに欠かせなかったのです。



滋賀県観光キャンペーン 武将キャラクター

秀吉・秀長兄弟 ゆかりの地 長浜

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送を契機に、
滋賀県長浜市内では兄弟ゆかりのスポットに様々な展示施設が開設されています。

北近江豊臣博覧会 開催

会 期／2026年2月1日(日)～12月20日(日)

場 所／滋賀県長浜市各所

主催者／北近江豊臣博覧会実行委員会

長浜城下町エリア

豊臣兄弟! 北近江長浜 大河ドラマ館

㊤長浜別院大通寺 総会所(滋賀県長浜市元浜町32-9)
㊦9:00～17:00※最終入館は16:30
㊧原則無休(主催者の都合等により臨時休館・開館時間変更となる場合があります)
㊨大人:一般600円、小中学生:一般300円

展示テーマ
兄弟の絆



北近江長浜「大河ドラマ館」(長浜別院大通寺 総会所)

浅井・小谷城下町エリア

義と絆館

㊤道の駅 浅井三姉妹の郷(西隣)(滋賀県長浜市内保町2843)
㊦10:00～17:00※最終入館は16:30
㊧原則無休(主催者の都合等により臨時休館・開館時間変更となる場合があります)
㊨大人:一般200円※高校生以下無料

展示テーマ
家族の絆



義と絆館(道の駅 浅井三姉妹の郷(西隣))

賤ヶ岳合戦エリア

賤ヶ岳戦国ステーション (賤ヶ岳古戦場一帯ほか)

㊤旧余呉文化ホール(長浜市余呉町中之郷2434)
㊦10:00～16:00 ※最終入館は15:30
㊧原則無休(主催者の都合等により臨時休館・開館時間の変更となる場合があります) ㊨無料
豊臣大返しステーション(木ノ本駅)・田上山砦・賤ヶ岳砦・堂木山砦

展示テーマ
家臣の絆



賤ヶ岳戦国ステーション(旧余呉文化ホール)

詳しくは

北近江豊臣博覧会 特設サイト



公式X



公式Instagram



国宝 彦根城へ



美しき彦根城

国宝の天守をもつ彦根城。江戸時代の多くの城郭が明治の「廃城令」で取り壊されたなかで、奇跡的に残された美しい城郭です。彦根城の歴史は江戸時代とともに幕を開けます。関ヶ原の戦いで石田三成を下した徳川家康は、三成の旧領・近江国佐和山を家臣の井伊直政に賜り、直政は佐和山城に入ります。しかし三成の影響が残る佐和山をそのまま引き継ぐことを避けたく、すこしだけ西へ、びわ湖に近づくように新しい城を建立することを決めます。それが彦根城。慶長8年(1603)のことでした。

築城には20年の歳月を要しました。江戸時代を通じて井伊家が城主でありつづけ、さらに幕末期の城主・井伊直弼は徳川幕府の大老という重い役職に就いたため、彦根城の社会的地位は高いものでした。そのため明治維新を迎えても、天皇の行幸や保存運動があり、今にその壮麗な姿を残すことになったのです。



戦国の防御機能を備える

彦根城のシンボルといえば天守。変化に富んだ屋根の配置はおごそかでリズミカル。豊臣秀吉が建立した大津城から移築したものとわれ、関ヶ原の戦いでは京極高次が籠城したこともある歴史の証人で、美しいだけではなく、軍事施設でもあったことも意味します。

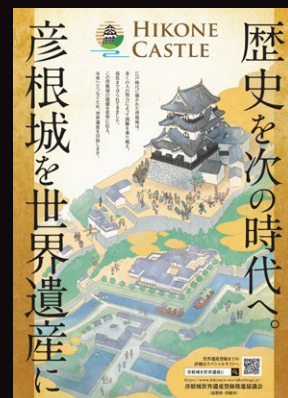
彦根城そのものも自然の地形を利用した要塞でした。標高約136メートルの金亀山の山頂からふもとまで縄張りされた城内には、本丸や二の丸、西の丸など複雑な曲輪(くるわ・区画)が配されて、幾重にも防御線が張られています。敵を侵入させないために山裾を急こう配に加工した「切岸」はもちろん、お堀は三重に張られ、天守や櫓には「挟間(さま)」という鉄砲を撃つ穴など、仕掛けもたくさん。

現代の私たちは「江戸時代は平和だった」ということを知っていますが、当時の人々はいくら家康が天下をとっても、またいつ「戦国」が始まるかわからない、と考えていたはず。そのため江戸時代の築城とはいえ、いざというときは軍事的な役割を果たす城砦を目指したのです。

目指せ、世界文化遺産

現在、滋賀県と彦根市は彦根城の世界文化遺産推薦登録を目指しています。世界文化遺産となる要件は、古さ、美しさ、貴重さだけでなく、世界的に特殊な当時の日本の政治の仕組みという文化的伝統をしっかりと物語る価値を保持していることです。

その意味で、国宝の天守を持つ彦根城は建築としても貴重ですが、江戸時代の大名統治のシンボルとしてほぼ完全な形で姿を留めていること、それが世界文化遺産登録にふさわしいと考えられています。



彦根城周辺の史跡

彦根城は天守だけでなく、庭園、櫓、門、石垣、堀など、多くの構造物が築城当時の姿をとどめています。城下町や御殿の跡地も良好に保存されており、往時の防御機能や生活空間を現地で体感できる数少ない城郭です。その一部をご紹介します。



国宝 彦根城

滋賀県彦根市金亀町1-1

彦根城運営管理センター

☎0749-22-2742

料一般:1,000円、小中学生:300円

時8:30~17:00(最終入場は16:30まで)

年中無休

JR琵琶湖線「彦根駅」より徒歩15分

<https://hikonecastle.com/>

【 名勝 楽々園 】

旧彦根藩主の下屋敷で「槻御殿」の名のほかに、黒門外(前)屋敷とも称されましたが、現在は「楽々の間」にちなんで「楽々園」と呼ばれています。建物内は通常非公開ですが、庭園から建物をご覧ください。

料外観のみ:観覧無料

時8:30~17:00 年中無休



【 名勝 玄宮園 】

玄宮園は下屋敷である槻御殿(現楽々園)に伴う後園として江戸時代前期に作庭された大規模な大名庭園です。広大な池水を中心に、池中の島や入江に架かる9つの橋などにより、変化に富んだ回遊式庭園となっています。

料一般400円、小中学生150円(彦根城とのセット券も販売)

時8:30~17:00(最終入場は16:30まで)
年中無休



【 彦根城博物館 】

昭和62年(1987)2月、彦根市の市制50周年を記念して、彦根城表御殿跡地にその復元を兼ねて建てられた博物館です。常設展「“ほんもの”との出会い」をはじめさまざまな企画展・テーマ展等をご覧ください。

彦根城博物館 ☎0749-22-6100

料一般700円、小中学生350円

時8:30~17:00(最終入場は16:30まで)
不定期(公式サイトをご確認ください)

<https://hikone-castle-museum.jp/>



シガリズム 体験

彦根城内「楽々園」を貸切! 特別体験プログラム

彦根城内で、彦根藩の井伊家が仕えていた徳川宗家第19代当主である徳川家広氏との特別交流プログラム。人力車で駅までお迎えにあがり、彦根城までご案内します。普段は入れない彦根城内の楽々園等を特別に貸切り、江戸時代をつくりあげてきた徳川宗家の第19代当主である家広氏との特別交流プログラムを通じて日本の文化のルーツを学べるうちに、1日コースをお申し込みいただいた方限定で、近江牛専門料理店「千成亭」で近江牛のフィレステーキ御膳を楽しむこともできます。

【 集合場所 】 JR彦根駅西口の観光案内所前

【 予約可能期間 】 催行日の30日前まで※リクエスト形式

【 参加人数 】 2名~10名※1組限定のプライベートプラン

【 追加オプション(追加料金) 】 歓迎の鉄砲隊のセレモニー(20分)

※「鉄砲隊のセレモニー」オプションを追加の場合、
1日コース▷10:30集合、半日コース▷12:30集合となります

<https://experiences.travel.rakuten.co.jp/experiences/51977>

料金など詳細は
専用サイトをご確認ください



西教寺客殿特別公開 —秀吉ゆかりの地と戦国の祈りを巡る

明智光秀公の菩提寺・西教寺では、秀吉ゆかりの伏見城から移築された客殿を令和8年春に引き続き秋期として11月7日(土)～12月6日(日)にも特別公開。

④大津市坂本5丁目13-1 ⑤077-578-0013 ⑥大人:500円、団体(30名以上):400円 ⑦2026年11月7日(土)～12月6日(日) ⑧9:00～17:00(受付16:30まで) ⑨JR湖西線「比叡山坂本駅」下車、バス約7分／京阪電車「坂本比叡山口駅」下車、バス約4分



三井寺 「豊臣兄弟とその時代」展

三井寺は1300年以上の歴史を刻む天台寺門宗の総本山です。北政所寄進と伝わる金堂では、豊臣秀吉と北政所をはじめとする三井寺と関わりの深い人々を取り上げた企画展が行われ、激動の時代を生きた姿を紹介します。

④大津市園城寺町246(三井寺金堂) ⑤三井寺 ⑥077-522-2238(代表) ⑦入山料▷大人:800円(企画展は入場無料) ⑧不要 ⑨9:00～16:30(入山受付終了16:00) ⑩京阪電車石山坂本線「三井寺駅」より徒歩7分／JR琵琶湖線「大津駅」または JR湖西線「大津京駅」よりタクシーまたは京阪バス「三井寺」下車すぐ



織田信澄による築城とまちづくり 築城450年「大溝城と城下町」

信長の甥・信澄によって築城された大溝城は、安土城や長浜城とともに信長が湖辺に配した「琵琶湖城郭ネットワーク」の一つであり、安土城の対岸に位置しています。築城当時の石垣が現在も見られるほか、城と同じくして整備された城下町は、今日まで続く大溝のまちの骨格となっています。

④高島市勝野1688 大溝陣屋 総門 ⑤大溝の水辺景観まちづくり協議会 ⑥0740-36-2011 ⑦ガイド付まち歩き▷60分(短縮)、90分(通常):500円/人(税込) ⑧要予約(希望日時を2週間前までにお伝えください) ⑨水・木曜日を除く ⑩10:00～17:00 ⑪水曜日定休(祝日の場合は翌平日) ⑫JR湖西線「近江高島駅」より徒歩約5分



乱世の跡を今に伝える、18の観光スポット

第19回水鉄砲合戦 「世は戦国! 雪野山夏の陣」

東近江市平田地区で開催する、瓶割り柴田の異名で知られる柴田勝家と戦国大名六角義治の合戦をもとにした水鉄砲合戦です。会場からは瓶割山(長光寺城)を臨むことができ、戦国ロマンと涼に触れる名物イベントです。

④東近江市上羽田町・中羽田町(雪野山歴史公園) ⑤平田コミュニティセンター ⑥0748-22-1950 ⑦観覧無料 ⑧2026年8月2日(日) ⑨8:30開会(予定) ⑩JR琵琶湖線「近江八幡駅」から、車で20分または近江バス日八線・長峰線「羽田西」まで20分、以後徒歩15分／近江鉄道万葉あかね線「平田駅」から車約10分



旧和中散本舗・ 大角氏庭園特別公開

東海道沿いにあり、徳川家康公の腹痛を治癒したとされる薬、「和中散」で全国に知られるようになりました。また、「間の宿」として公家や大名の小休み本陣としても栄えました。

④栗東市六地藏402 ⑤(一社)栗東市観光協会 ⑥077-551-0126 ⑦大人(高校生以上)500円・小人(小・中学生)200円 ⑧特別公開時は不要 ⑨年2回／春5月・秋9月(2026年は9月19日～23日)特別公開 ⑩10:00～16:00(最終受付15:30) ⑪非公開(小グループであれば可能:予約必要) ⑫JR草津線「手原駅」より徒歩約20分・特別公開期間中はこんざめぐりちゃんバス運行



国宝 善水寺 千灯会

奈良時代に開創され、伝教大師最澄により再興された歴史ある寺院です。毎年10月8日には諸願成就を祈願する千灯会が行われ、本堂が千本以上の灯明で幻想的に浮かびあがります。

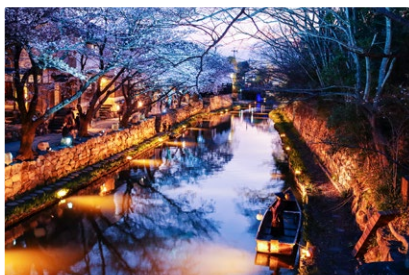
④湖南市岩根3518(国宝善水寺) ⑤国宝善水寺 ⑥0748-72-3730 ⑦拝観料:600円 ⑧不要 ⑨2026年10月8日(木) ⑩17:00～20:30(予定) ⑪JR草津線「甲西駅」から、湖南市巡回バス「岩根」下車、徒歩約10分



豊臣秀次と歴史を紡ぐ 「八幡堀」

天正13年(1585年)に豊臣秀次(秀吉の甥)が八幡山に城を築いた際に運河として作られました。新町浜や日牟禮八幡宮付近は夜間ライトアップを行っており、昼間とは違った幻想的な雰囲気を味わえます。

⑤近江八幡市宮内町周辺 ⑥近江八幡駅北口観光案内所 ☎0748-33-6061 ⑦無料 ⑧不要 ⑨通年 ⑩JR琵琶湖線「近江八幡駅」下車、近江鉄道バス約7分



時は天正。いざ信長の時代へ ～安土城タイムトリップVR～

VRゴーグルを装着し、戦国時代の安土城などを再現した仮想空間を散策できるほか、アイテム探しやクイズなどのゲームに挑戦でき、織田信長の時代へタイムトリップしたかのような没入体験をお楽しみいただけます。

⑤近江八幡市安土町桑実寺800番地(安土文芸の郷 信長の館) ⑥安土城天主信長の館(公益財団法人安土町文芸の郷振興事業団) ☎0748-46-6512 ⑦300円※別途、信長の館入館料が必要 ⑧不要 ⑨通年(施設の休館日は除く) ⑩9:00～17:00※VR利用時間は9:15～11:45/13:15～16:00 ⑪月曜日・祝休日の翌日(土日を除く)・年末年始 ⑫JR琵琶湖線「安土駅」下車、徒歩約25分



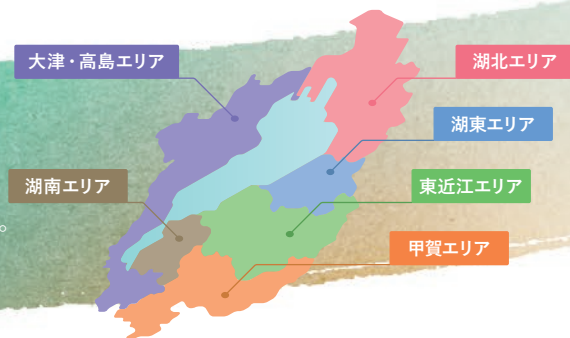
琵琶湖一周のろし駅伝

近江中世城跡保存団体が催す『琵琶湖一周のろし駅伝』。道の駅竜王かがみの里の前にあります星ヶ崎城址でのろしを上げます。誰でもご参加いただけます。
(このイベントは走るイベントではありません)

⑤蒲生郡竜王町鏡1231-2(道の駅 竜王かがみの里) ⑥竜王町観光協会 ☎0748-58-3715 ⑦無料 ⑧不要 ⑨2026年11月23日(月・祝) ⑩9:00～17:00(観光協会) ⑪土日祝(観光協会) ⑫JR琵琶湖線「野洲駅」南口②番のりばから近江鉄道バスにて約10分



滋賀の6エリアには、
戦国時代を肌で感じられる名所や史跡が多彩にあります。
その一つひとつを辿っていくにつれ、だんだんと現世から離れていく。
誰もが、そんな気分を味わうことができるでしょう。



猿飛佐助のふるさと 三雲城址

戦国時代初期に三雲典膳が築いた山城で、佐々木六角氏の逃れ城としても利用されました。司馬遼太郎作「風神の門」で真田十勇士の忍者 猿飛佐助は、ここで育った三雲佐助賢春がモデルであると描かれています。

⑤湖南市吉永(三雲城址) ⑥一般社団法人湖南市観光協会 ☎0748-71-2157 ⑦無料 ⑧不要 ⑨通年 ⑩JR草津線「三雲」下車、徒歩約45分



観光インフォメーションセンター 甲賀流リアル忍者館

甲賀市の総合観光案内所「甲賀流リアル忍者館」。日本遺産にも認定されている甲賀忍者をテーマとした展示や体験コーナーを備え、市内の観光スポットやイベント情報の案内を行っています。また、地元の特産品やお土産も多数取り揃え、甲賀市の観光拠点として利用されています。

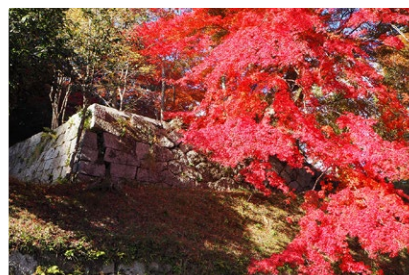
⑤甲賀市甲南町竜法師600(忍の里プララ内) ⑥観光インフォメーションセンター甲賀流リアル忍者館 ☎0748-70-2790 ⑦無料(一部体験等有料あり) ⑧不要 ⑨通年 ⑩10:00～16:00 ⑪月曜(祝日の場合は開館)・12月29日～1月3日 ⑫JR草津線「甲南駅」から徒歩約20分、またはコミタクで「忍の里プララ」下車



多羅尾代官陣屋跡 秋季・春季オープン

多羅尾は江戸時代に幕府直轄地の支配を行う代官を、世襲で勤めた多羅尾氏の本拠地。本能寺の変の直後に発生した徳川家康「神君伊賀越え」の道中を警護した功績から、徳川幕府成立後に4000石の領地を与えられ旗本となった。

⑤甲賀市信楽町多羅尾2455 ⑥多羅尾コミュニティセンター ☎0748-85-0001※月～金のみ ⑦無料 ⑧期間外見学希望の場合は、事前にお問合せ必要 ⑨秋季11月30日まで/春季4月1日～5月31日 ⑩不定 ⑫信楽高原鐵道「信楽駅」から車約15分



石田三成花押入り
「御城印」販売

佐和山城本丸跡(頂上)に設置されている二次元コードを使ってアンケートに答えると、石田三成の花押入り「御城印」が彦根市観光案内所もしくは彦根城表門券売所で購入できます。

㊤佐和山城跡(彦根市古沢町)・彦根市観光案内所(彦根駅西口)・彦根城表門券売所(彦根市金亀町1番1号) ㊦彦根市観光交流課 ☎0749-30-6120
㊧佐和山城▷入山無料「佐和山城御城印」販売価格300円(税込) ㊨5名以上の団体で登山される場合には、佐和山を所有する清涼寺にて入山許可証の発行を受けてください ㊩通年 ㊪佐和山城は16:00までには下山するように心がけてください/彦根市観光案内所▷9:00~17:00/彦根城表門券売所▷8:30~17:00※最終入館・最終販売時間16:45 ㊫佐和山城跡登り口▷JR琵琶湖線・近江鉄道「彦根駅」から徒歩約25分/彦根市観光案内所▷「彦根駅」西口/彦根城表門券売所▷JR琵琶湖線・近江鉄道「彦根駅」から徒歩約15分

テーマ展「井伊家歴代の指料
—選ばれた名刀の姿—」

武士の魂とも言われる刀剣は、大名道具の筆頭とされ、井伊家でも数多くの名刀が収集・所蔵されました。本展では、伝来刀剣のうち、歴代当主の指料に注目します。当主それぞれが選びだした名刀の姿をご覧ください。

㊤彦根市金亀町1-1(彦根城博物館) ㊦彦根城博物館 ☎0749-22-6100 ㊧大人:700円(1,500円)、小中学生:350円(550円)※括弧内は彦根城とのセット券 ㊨不要 ㊩2026年7月24日~9月14日 ㊪8:30~17:00(入館16:30まで) ㊫8月20日・9月10日 ㊬JR琵琶湖線・近江鉄道「彦根駅」から徒歩約15分



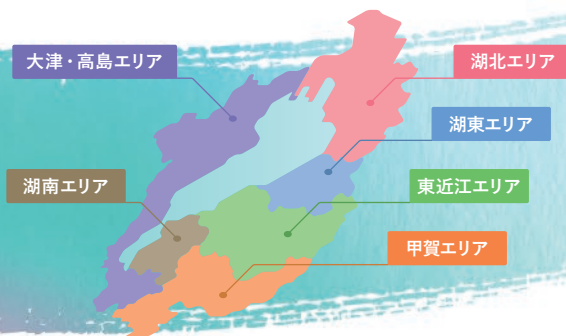
刀 無銘 備前長船倫光(井伊家初代直政所用)

参ろう♪

かなえま
叶絵馬すたんぷめぐり

絵馬の紐は願いごとによって12色に分けられています。自分の願いと同じ色の絵馬を買って、絵馬の裏に願いごとを書いてください。指定の場所を巡りながら、6個のすたんぷを重ねて捺し、完成した叶絵馬はお持ち帰りいただけます。そして、秀吉が母の長命を託した神様を祀る多賀大社へ参ろうぞ。

㊤犬上郡多賀町多賀389-1 ㊦一般社団法人 多賀観光協会 ☎0749-48-1553 ㊧500円 ㊨不要 ㊩2025年11月~2027年11月 ㊪10:00~14:00 ㊫8月13日~15日、12月29日~1月3日 ㊬近江鉄道多賀線「多賀大社前駅」

乱世の跡を今に伝える、
18の観光スポット企画展「秀吉、秀長と天下を支えた
近江衆—長浜ゆかりの武将と奉行—」

大河ドラマ「豊臣兄弟!」と長浜市内で開催中の「北近江豊臣博覧会」に合わせ、片桐且元や石田三成、小堀正次ら、秀吉と秀長を支えた長浜ゆかりの武将たちの活躍を様々な資料を通じて紹介します。

㊤長浜市公園町10-10(長浜城歴史博物館) ㊦長浜城歴史博物館 ☎0749-63-4611 ㊧大人(高校生以上):1,000円(800円)、小・中学生:200円(160円)※()は20名以上の団体料金、長浜・米原市内の小中学生は無料 ㊨不要 ㊩7月25日~9月27日 ㊪9:00~17:00(入館は16:30まで) ㊫毎週月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、翌平日が休館) ㊬JR北陸本線「長浜駅」徒歩7分



石田三成像
長浜城歴史博物館蔵

秀吉・三成 出会いの観音寺
三成ランタン祭り

豊臣秀吉と石田三成の出会いの地とされる大原観音寺。大原観音寺本堂前にて、石田三成への鎮魂と人々の祈りを込め、夜間を幻想的に彩る「三成ランタン」の打上げイベントを開催します。また、当日は「三成に逢えるブックカフェ」でのお茶の振る舞いも行います。

㊤米原市朝日1342(大原観音寺) ㊦米原市経済環境部シティセールス課 ☎0749-53-5140 ㊧80個限定※定員になり次第締切2,500円/1個 ㊨事前予約可 ㊩2026年10月31日(土) ㊪10:00~18:30頃(打上げは18:00) ㊫JR東海道線「近江長岡駅」から車約10分

戦国を攻略せよ!
羽柴兄弟 謎解き立志伝

羽柴兄弟の成り上がりの地・長浜市と米原市を舞台に、ゆかりの地を巡りながら隠された謎を解く謎解きイベントを開催!知恵とひらめきで戦国の謎を攻略し、仲間を集めて立身出世を目指そう!

㊤米原市米原1016(米原駅観光案内所) ㊦米原駅観光案内所 ☎0749-51-9082 ㊧無料 ㊨不要 ㊩2026年7月18日から2026年12月20日まで ㊪9:00~17:00※施設営業時間内 ㊫無休 ㊬JR琵琶湖線「米原駅」すぐ



ニッポン城めぐり × 戦国ディスカバリー



実施期間 2026年6月10日(水)～12月22日(火)

スマートフォンのGPS(位置情報)機能を使って実際に日本全国3,000の城をめぐる無料のスタンプラリーアプリ「ニッポン城めぐり」との連携企画。滋賀県北部を中心に豊臣秀吉・秀長兄弟を支えた家臣たちゆかりの地をめぐり、スタンプをゲットしよう!全12スポットを制覇すると限定キャラクター「智(日秀尼)」がもれなく登用可能となります。

「ニッポン城めぐり」の詳細はこちら▶



戦国ディスカバリー ツアー

戦国ゆかりの地を巡り、滋賀・びわ湖の歴史と魅力を再発見。「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」を体感できるツアーを実施しています。



滋賀・びわ湖観光パスポート LINE公式アカウント

滋賀・びわ湖をめぐる旅をもっと快適にお得に!対象施設で使えるデジタルクーポンに加え、観光に便利なマップやモデルコースがチェックできるデジタル観光パスポート。LINEで友だち登録すればすぐに利用できます。



LINEリッチメニューのイメージ

【搭載機能(リッチメニュー)】

- ◆観光マップ ◆観光モデルコース案内
- ◆祭り・イベント案内 ◆シガリズム体験予約
- ◆デジタルクーポンの配信 ◆デジタルスタンプラリー(今後企画予定・時期未定)

友だち登録はここから



滋賀県内31酒蔵周遊 パ酒ポート2026 近江の地酒版

実施期間 2026年7月17日(金)～12月31日(木)

滋賀県内の酒蔵をお得に巡ることができる特別企画。各酒蔵や書店で販売されている「パ酒ポート」を入手して、滋賀の地酒を堪能しよう。パ酒ポートは酒蔵で使える特典付きで、各酒蔵の情報や滋賀土産の特集など、読み物としても楽しめます。さらに、各酒蔵にあるスタンプを集めると、抽選で豪華賞品GETのチャンスも!



旅行は環境にやさしい 次世代自動車レンタカーで。

レンタカーが最大半額で利用できる!

滋賀県では、二酸化炭素の排出削減が見込まれるEV(電気自動車)等の「次世代自動車」による滋賀県内の観光周遊を促進するため、次世代自動車のレンタカー利用に対して助成を行っています。

[利用条件]滋賀県内の発着/観光目的での利用/1台あたり最大96時間までの利用
※利用料:基本料金(消費税抜き)のみ。オプション料金や免責補償等は対象外。[助成]利用料の2分の1以内[上限]7,000円/台(24時間あたり)※100円未満の端数切り捨て
☎公益社団法人びわこビジターズビューロー ☎077-511-1530

近江武将カードラリー 収集令 近江の武将カードを集めよ!

実施期間 2026年7月14日(火)～12月20日(日)

戦国の檜舞台・近江めぐり、歴史ロマンを体感しながら17種類の武将カードを集めよう。集めた武将カードの枚数に応じて素敵な景品をプレゼントします。



秀長・秀吉 夢の軌跡 スタンプラリー 第2幕

実施期間 2026年4月25日(土)～12月20日(日)

秀長・秀吉兄弟にゆかりのある滋賀県・奈良県・愛知県の3県を巡る特別企画。御朱印帳のようなスタンプ帳『豊印帳』を入手して、兄弟ゆかりの地を巡ろう。各ゆかりの地にはスタンプが設置されており、「大河ドラマ館」隣接スポットには特別なスタンプも。集めたスタンプの種類によって先着や抽選の賞品を手に入れることができます。



